

2014. 11. 28 ささえあいの家 当番懇親会時のアンケート結果 28人参加

1 当番をやってよかったこと、困ったこと

同じ校区でも知らない人と知り合えた。新しい出会いがうれしい。知り合いが増えれば地域が密になると思う。あちらこちらで会えば、声かけでき、明るい八木山校区になると思う。

声をかけて頂き、ボランティアならと引き受けた。2時間もあっという間に過ぎ、お仲間が増えてうれしく思う。ささえあって当地を愛し生活できるよう頑張る。

新しいお友達ができ良かった。

知り合いが増えた。特にこの年になって、ゲラゲラ笑いを互いにできる方が短期間でできるとは思ってもみなかった。住んでいるところの風景も、当番に参加する以前とは違って感じるが多い。以前はただ住まいのあるところとの認識だったが顔見知りが増えてあいさつする、あいさつできる方が増えて「ここに定着してきたんだな、自分も」としみじみ感じる。

多くの人と知り合いになれたことが良かった。

今のところ困ったことはない。

一応若い方なので、壮年の方からいろんなこと、子育て、料理等を学ぶ時間にもなっておりありがたい。

知人がたくさんできた。

今まで話したことの無い人と話せるようになった。

当番を一緒にやらせていただいている方から、当番をしているとき、楽しくお話しさせていただき、夏は涼しく過ごさせていただき、申し分なく良かった。

譲りますコーナーの品の問い合わせの時、だれに取り次いでよいのかわからなかった。わからないことがあったとき、だれに尋ねたらよいのかわからない時がある。

当番が二人だったので、楽だった。来た方が手伝ってくださり助かった。

一人で当番をしていて複数の来客があると困ることがあった。

一人当番はさみしい。

一人当番の時、講座もなくてお客様も見えない時、2時間が長く感じられる。二人体制になるようにしていただくといい。

当番会議に出席できないがそこで決まったことを当番の日に読むが、あまりわからない。よくわかる方策はないか。

食器のしまう所が変わっていてちょっと戸惑った。

まだ運営方法はよくわかっていないので、戸惑うことが多い。

2 ささえあいの家が今後こうだったらいいなと思うこと

八木山地区のみんなに浸透して、誰でも気兼ねなく立ち寄れる場所になるとよい。私の知人たちは、ささえあいの家に入るのにまだまだ構えてしまうようだ。

若い世代にも知ってもらえるとよい。

誰でも「気軽に立ち寄ろう」「ちょっと閑だから行ってみよう」と思ってもらえるように地域みんなが知っている所になるとよい。それには長く続くことが大切だ。

ささえあいの家をもっとみなさんに利用して頂けるようになるとういと思う。

自分で来られない人も、送迎できるシステムがあれば理想だ。

来初される方は足の丈夫な方なので、心配ないが、足の悪い方は、来初できないので、送迎ができるとうい。家に閉じこもっている方を誘ってきてもらうように直接声をかけて誘ってもらうように、一人一人が努力しなくてはと思う。

多くの人に来初してもらうように声をかけて誘わないといけな。

脳トレをやって思ったこと。一番来てほしい人は家に引きこもっている人や足の悪い方、この方たちに来てもらうには、迎えに行った方が良のかなと思った。

身体的に弱っているなど、本当に困っている人が来やすいような足があるとよい。

ささえあいの家に来てもらえなくても、何かあったらささえあいの家へ連絡してもらええば・・・と言う場所と言うことを知っていただきたい。

来客があつたり、電話が入つたりと2人体制の方が良。当番が二人だとよい。

時事問題とか、最近気づいたこととなど話会えるサロンがあるとよい。新聞、雑誌、テレビなどから何か話題を持ち寄って話し合う場がほしい、1か月に一度でも、2度でもよいので社会に目を向ける主婦になりたいと思っている人もいると思われる。

どこでお世話になるかわからないので、いつもお互い様の感情を常に持って暮らしたく思う。

もっと当番ボランティアが増えて、10時から3時まで続けて開けることができるとよい。

昼の休みをなくして一日通しで運営した方が参加しやすいのではないかな。

当番の男性が少ない。お茶出しとか家事的なことがあるためと思うが、増えるとういかなと思う。

男性の当番一人の時は、女性がつくとよい。

営繕の会は男性が多いとは思うので、当番もやってくれたら良なのに、抵抗が大いかな。

色々と行事があると手狭に感じるが仕方がない。